

科目名	新潟研究（政治と経済）	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	夏井 陽三、小林 正史		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-01-A-1-110013	国際学部C：新潟の地域社会にあつて学術的素養を日々に活かす方法をたえず摸索する強い意欲をもち、これを具体化していくための社会関係構築能力を獲得していること			
授業の目的	<p>日本は今、景気低迷から脱却したとはいえ、全国各地で大災害が相次いでいる。経済、政治も混迷し、地方では人口減少と高齢化が進行している。戦後の日本政治、現在の新潟の経済を概観しながら、新潟と日本の問題点と在るべき姿を探っていく。</p> <p>これにより、本学が定めた卒業までに達成する学習基本目標の一つである、健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること-につながると確信する。</p> <p>政治の分野では、新潟県が生んだ政治家である田中角栄元首相の実績などを交えながら、終戦から現在までの日本政治を解説する。</p> <p>経済分野では、エネルギー基地としての歴史や、日本屈指のコメどころとしての農業、食品工業など地域経済の明日を考える。</p>				
学修到達目標	日本と新潟県の政治、経済について歴史と現状を認識し、関心を高める。問題意識を意欲を持って、物事を主体的に考え、自らが住む地方の活性化に寄与できるようにしたい。				
実務経験との関連性	現役の新聞記者が、新潟県の政治・経済の歴史と現状について、取材経験を交えて解説します				

授業計画	
第1回	ガイダンス 最近の政治状況について
第2回	敗戦から日本の独立、講和
第3回	自民党、社会党の55年体制確立

第4回	高度成長と田中首相誕生と退陣
第5回	ロッキード事件と田中支配
第6回	政界再編、連立の時代と田中型政治
第7回	(特別セミナー) 就職試験の作文対策
第8回	政治分野試験
第9回	県内産業の歩み (経済概論)
第10回	新潟経済の個性 1 (1次産業・農業)
第11回	新潟経済の個性 2 (2次産業・製造業)
第12回	新潟経済の個性 3 (3次産業・サービス業など)
第13回	試練の地方経済

第14回	活路はどこに
第15回	国際競争に勝つ
第16回	経済分野の試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	前週配布資料の予習に2時間を要する。
【復習】時間・内容	資料の不明点の復習に2時間を要する。

成績評価	
評価基準・方法	定期試験90%、授業態度10% 政治、経済両分野の終了時に試験を行う。論述式で1ないし2問。文字数は最低でも1000。
フィードバック方法	フィードバックとして、試験終了後、点数分布や平均点、全体講評をポータルで公表する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	

教科書/参考書	教科書は指定しない。授業時にレジюме、資料を配付する。参考文献は必要に応じて紹介する。
受講上の留意点等	
JABEE	